

文化・スポーツ・観光

2/10(金)～12(日)

にいがた 冬 食の陣「当日座」

新潟が誇る食文化の魅力を2つの会場で発信します。30回目の開催となる今回は約30店舗が出店し、開港五港の名物をはじめとするご当地グルメのほか、30年前の学校給食を再現したメニューを提供します。



※詳しくは食の陣公式サイトに掲載

●日時 2月10日(金)～12日(日)11時～18時

※12日は17時まで。売り切れ次第終了

●会場 古町ルフル広場(中央区古町通7)、新潟ふるさと村(西区山田)

問 食の陣実行委員会事務局(月～金曜10時～17時

☎025-286-9112)、観光政策課(☎025-226-2608)



スマートフォンは
こちらから

主なメニュー

※画像はイメージ



▲にぎりずし



▲いちご大福



▲学校給食の再現メニュー



▲牛たん焼き



▲芋煮

開港五港の名物が出店

新潟、横浜、神戸などの名物グルメが集結します。

この機会に各都市の逸品を食べ比べてみてください。



▲新潟「バスセンターのカレー」



▲横浜「小籠包」



▲神戸「神戸牛のコロッケ」

くらし

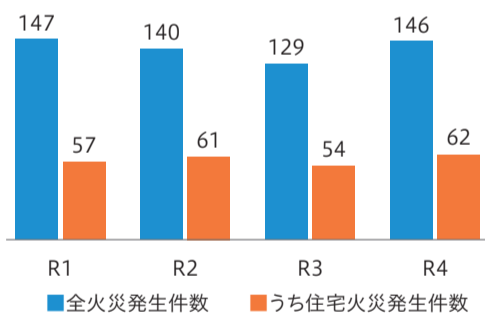
令和4年の火災件数は146件

火の用心で安心なまちへ

令和4年の新潟市の出火件数は前年より17件増加し、146件でした。冬期は暖房器具を使用する機会が増えるため、火災が発生しやすくなります。ストーブの取り扱いに注意しましょう。

問 消防局予防課(☎025-288-3230)

新潟市の火災発生件数



出火原因ワースト5

- 1位 電気機器・配線など
- 2位 たばこ
- 3位 ストーブ
- 4位 こんろ
- 放火(疑い含む)

火災から命を守る10のポイント

4つの習慣

- ①寝たばこは絶対にしない、させない
- ②ストーブの周りに燃えやすい物を置かない
- ③こんろを使うときは火のそばを離れない
- ④コンセントのほこりを清掃し、使わないプラグを抜く



6つの対策

- ①ストーブやこんろは安全装置の付いたものを使う
- ②住宅用火災警報器は定期的に点検し、10年を目安に交換する
- ③寝具や衣類、カーテンなどは防災品を使う
- ④家庭用消火器などを常備し、使い方を確認しておく
- ⑤避難経路や避難方法などを確認しておく
- ⑥地域の防災訓練などに参加する



電気関係の出火に気を付けよう

- ・たこ足配線をしない
- ・電気コードを束ねない
- ・傷んだコードを使わない
- ・電気コードの上に物を置かない
- ・リチウムイオン電池は、落下などの強い衝撃を与えない

リチウムイオン電池は、スマートフォンやモバイルバッテリー、電子たばこなどに使用されています。充電器は専用のものを使うなど、適切に使用しましょう。



消防局マスコットキャラクター「消太くん」

消防職員が住宅用火災警報器を取り付け

●対象 高齢者や障がい者のみの世帯で、自身で取り付けが難しく、家族や近隣の人などに相談できない人

※火災警報器本体は事前に購入しておいてください

問 各消防署

